

8月の催しもの

☕ まちなかカフェ 🏫 まちなか大学 😊 こども講座 🌻 米百俵講座 🧑‍🔬 まちづくり市民研究所 🤝 ボランティア企画講座

日程	時間		内容	講師
8/ 1(土)	18:00ー19:30	🧑‍🔬	「白菊」-鎮魂の花火、そこにこめられた思い-	ノンフィクションライター 温泉エッセイスト 山崎まゆみ
8/ 8(土)	10:00ー11:30	😊	世界にひとつだけのミニカーをつくろう! ②大切なのは下地作り!	長岡造形大学 教授 増田譲 長岡造形大学 教授 斎藤和彦
	10:00ー11:30	🌻	長岡の教育者をひも解く2 齋藤由松・米百俵の精神と長岡の私学-	長岡大学 教授 松本和明
	11:40ー12:30	🌻	長岡の偉人を知ろう-教育に尽力した人々-	長岡市立中央図書館職員
	13:30ー15:00	🤝	こども理科工作・実験教室 「光万華鏡」の工作をして光の不思議を勉強しよう	長岡技術科学大学名誉教授 植松敬三 塩見友雄、藤井信行、矢鍋重夫 ほか
	13:30ー15:30	🤝	まちキャンボランティア企画講座 知って楽しい長岡 ②米百俵の目指すもの	公益財団法人長岡社 長藤潔 長岡市米百俵財団職員
8/ 9(日)	10:00ー12:00	😊	こみんか探検 会場:長谷川邸(現地集合:長岡市塚野山773番1)	長岡造形大学 教授 平山育男
	14:00ー15:30	🏫	ロマン輝く星のお話 ③宇宙探査におけるロケットの歴史と成果 会場:長岡技術科学大学(現地集合)	JAXA宇宙教育指導者 馬淵正展
8/22(土)	10:00ー11:30	😊	世界にひとつだけのミニカーをつくろう! ③色を塗って完成だ!	長岡造形大学 教授 増田譲 長岡造形大学 教授 斎藤和彦
	10:00ー12:00	😊	ろうそくパワーで回る灯ろうを作ろう! 会場:長岡工業高等専門学校(現地集合)	長岡工業高等専門学校 教授 河田剛毅
	13:30ー15:00	🤝	こども理科工作・実験教室 「ロウケツ染め」と「いろいろなスライム作り」に挑戦しよう 会場:長岡工業高等専門学校(現地集合)	長岡工業高等専門学校 非常勤講師(元教授) 丸山一典 ほか
8/23(日)	14:00ー15:30	🏫	ロマン輝く星のお話 ④生命の起源を探る	NPO法人星空ファクトリー 今井栄一
8/29(土)	8:00ー13:00	🏫	長岡野菜入門講座-これであなたも長岡野菜通- ①こだわりの畑を見る-夏野菜コース- 会場:小国・福戸	長岡野菜生産者
	13:30ー15:00	🌻	長岡の教育者をひも解く3 井上円了・東洋大学の創立者-	東洋大学 ライフデザイン学部 教授 三浦節夫
8/30(日)	9:00ー14:30	☕	夏だ! 山古志収穫祭-かぐら南蛮と和牛スペシャル- 会場:山古志	山古志かぐらなんばん保存会 青木幸七 肥育農家 関克史

休館日 8/4(火)、18(火)

羽賀学長の
まちキャン徒然日記

vol.44



H26年度の「白菊」

戦後70周年

今年は戦後70周年となりました。8月15日には真珠湾で平和を祈念した白菊が上げられ、12月8日には長岡で鎮魂の白菊が上げられます。戦争体験者の人たちが重い口を開き始め、平和の尊さを語り始めていますが、一方では花火を見に行けない深い傷を心に負っている方々もおられます。戦後80周年では何人の戦争体験者が元気でおられるのでしょうか。長岡の悲惨な歴史を風化させないためにも、想いをつないでいく重要性を心から感じています。

お申し込み

電話またはまちなかキャンパス長岡ホームページよりお申し込みください。

Tel.0258-39-3300 <http://www.machicam.jp>

注意事項

- ◎無料保育サービス(6ヶ月～未就学)があります。希望される方は、講座日の10日前までにまちなかキャンパス長岡までご連絡ください。
- ◎キャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。材料費がかかる講座をキャンセルした場合、材料費を負担いただくことがございます。
- ◎(まちなかカフェのみ)事前申し込みされた方が講座開始後5分経過しても来られない場合、当日申し込みの方を優先いたします。事前申し込みがない方でも、ご自由に見学できます。

協賛企業

私たちはまちなかキャンパス長岡を応援しています。(協賛金口数順・五十音順)
アクシアル リテイリング株式会社、日本精機株式会社、朝日酒造株式会社、安達紙器工業株式会社、岩塚製菓株式会社
株式会社大光銀行、株式会社第四銀行、長岡グランドホテル、中川酒造株式会社、北越紀州製紙株式会社、株式会社北越銀行

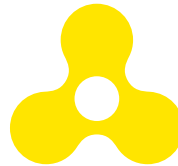


6月号でも紹介しました、まちキャンに設置された水槽と錦鯉、ご覧になりましたか。実は錦鯉は当初7匹いたのですが、現在は3匹になっています。鯉たちの体調を見ながら数を調整していき、今の数に落ち着いたのです。あまりに人口密度が高いと気分が悪くなってしまうのは、人間も鯉も同じなんですね。まちキャンを去った4匹は、長岡技術科学大学研究室の水槽で元気になっているそうです。

9月号につづく



＼ きになるがここにある ／



まちなかキャンパス長岡
machinaka campus nagaoka

まちキャン通信

8月号

発行:平成27年8月1日

vol.55 Aug 2015

まちキャン通信編集部 まちなかキャンパス長岡運営協議会 広報分科会 〒940-0062 新潟県長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト4F
TEL.0258-39-3300 FAX.0258-39-3301 E-mail.machicam@city.nagaoka.lg.jp

Topic
1



まちづくり市民研究所 第3期 研究員募集中!



まちなかキャンパス長岡では、平成25年9月に、市民のみなさんの知恵と経験を実際のまちづくりや地域課題の解決に活かす「まちづくり市民研究所」を開設しました。今年9月から始まる第3期のテーマは「食の資源循環で長岡を元気に!」。食を切り口に、長岡に合う資源循環を考え、さらにそこから長岡を元気にする事業展開などを研究します。

食の資源循環で長岡を元気に!

環境問題は、誰もが関わる身近な地域課題。その中で「食」をテーマに、食に関連した資源循環のサイクルを、工学、経済、農業の視点からリサーチ。長岡に合う資源循環のサイクルを市民目線で考え、長岡を元気にする事業展開などを研究します。

- 研究期間 平成27年9月26日～平成28年8月31日
(活動は概ね月1回(土日曜日または平日))
- 定員 概ね10人(選考あり。書類審査及び面接(8月29日(土)))
- 申し込み 平成27年8月26日(水)必着で、申込用紙(市有施設に設置もしくはホームページよりダウンロード)を郵送または持参ください。9月上旬に結果を発送します。

ディレクター



長岡技術科学大学
准教授
姫野修司さん



長岡大学
准教授
西俣先子さん

9月のまちなかカフェ 講座一覧

おいしいコーヒー、紅茶を飲みながら
気軽に楽しめる講座です

定員各20名(先着)

受講料各500円(1ドリンク付)

会場まちなかキャンパス長岡 4F 交流広場

申込最終ページをご覧ください

申込開始

8/10(月)～

※電話・HPで



勝ち組の必須アイテム「情報」を攻略せよ！

今の世の中、情報を先取りすることや上手に発信することは、自分にとって強力な武器になります。世の中のニーズを敏感にとらえ、スマホ節電アプリや、アプリ分析サービスなどを制作、提供している企業に、情報の探し方や選び方、見せ方などのコツを学びましょう。

9/4(金)
19:00～20:30

FULLER株式会社
代表取締役CEO 渋谷修太



ロボット技術の最先端 ー憧れの近未来は実現したのかー

昔のアニメやドラマでは、身の回りの世話をするロボットがしばしば登場します。近未来的なものに憧れる反面、「実現するわけがない」と思っていた人も多いのでは？ところが、ロボットスーツという形で、実現しつつあるのです。介護ロボットの最先端について紹介します。
※ロボットスーツの着用はできません。

9/10(木)
19:00～20:30

大和ハウス工業株式会社
ヒューマン・ケア事業推進部
ロボット事業推進室
岩見武敏



親子で考えるセカンドライフ ー夢は叶うー

セカンドライフとは、第2の人生、特に定年後の人生のことを言います。ずっとやってみたかったことを実現させる絶好のチャンスです。どんな準備をしたらよいのか、どう実行に移したらよいのかを親子で学びましょう。また、相続などについても考えることで、人生の良い締めくくりを目指します。

持物第二の人生にやりたいことの具体的な予算などが記された資料(あれば)

対象これからリタイアを迎える方およびそのご家族(お子様世代の方)15組(先着)

9/17(木)
19:00～20:30

長岡大学
専任講師 橋長真紀子



優しい心づかい、「江戸しぐさ」を学ぶ

江戸商人の間で口授されてきたといわれる江戸しぐさ。すれ違う際に互いの傘を避ける「傘かしげ」や、自分から謝ることよい雰囲気を保つ「うかつあやまり」など、随所に思いやりが感じられるマナーが含まれています。まさに体系化された商人道といった生活哲学について、実践を通して学びましょう。

9/25(金)
19:00～20:30

NPO法人江戸しぐさ
伝承普及員 柴田光榮

9月のまちなか大学 講座一覧

災害時に必要な市民のチカラを考える【5回連続講座】



ねらい

毎年全国各地で発生する災害。私たちの身の回りでも、いつまた発生するのか分かりません。そんな中、私たち一人ひとりには何ができ、どう備えることができるのでしょうか。長岡市内において防災活動を行っているさまざまな団体の取り組みを学び、自ら出来る防災・減災について考えます。

定員30名(先着)

受講料5回で3,000円

会場まちなかキャンパス長岡 3F 301会議室

申込開始

8/10(月)～

※電話・HPで

1 ボランティアによる復旧・復興支援のチカラ

阪神・淡路大震災以降、ボランティアが災害の復旧・復興支援活動に関わることが一般的になりました。しかし、ボランティアと一口に言っても、災害時に行う活動や役割は実にさまざまです。災害ボランティア活動の事例などを通して、市民一人ひとりに出来る災害ボランティアとは何かを考えます。

9/24(木)
19:00～20:30

関西大学
准教授 菅磨志保

2 市民による防災活動のチカラ

新潟県中越地震を機に、地域の市民防災力向上の一翼を担う、防災リーダーを育成している中越市民防災安全大学。その開校の経緯や活動内容を紹介するとともに、卒業生により構成され、市内でさまざまな防災活動を展開している中越市民防災安全士会の防災の取り組みについてお話しします。

10/1(木)
19:00～20:30

公益社団法人中越防災安全推進機構
河内毅
中越市民防災安全士会

3 子どもたちの未来を育むチカラ

災害によって失われる命をなくすためには、災害の経験や教訓を次世代へと伝えていくことが大切。そのためには、生まれ育った地域を知り、故郷への郷土愛と災害から生き抜く力を育むような教育が必要です。県内でどのように防災教育が行われているかを学ぶとともに、私たちに出来ることを考えます。

10/8(木)
19:00～20:30

NPO法人ふるさと未来創造堂
常任理事兼事務局長
中野雅嗣

4 企業が取り組む災害支援のチカラ

過去の災害では多くの企業がさまざまな形で災害支援に活躍しています。誠心誠意支援してくれる企業の姿に、胸を打たれた方も多いのではないのでしょうか。長岡ではこれまで企業がどのような災害支援活動を行ってきたのか、また現在行っている防災・減災活動についても学びます。

10/15(木)
19:00～20:30

一般社団法人
長岡青年会議所

5 災害時に外国人を助けるチカラ

外国人の皆さんは、災害が発生すると言語や文化の違いなどから「災害弱者」となり、さまざまな困難を余儀なくされます。そんな人たちに、どのように手を差し伸べればよいのでしょうか。新潟県中越地震などの事例から、災害時に必要とされる外国人支援の重要性やそのポイントなどについて学びます。

10/22(木)
19:00～20:30

長岡市国際交流センター
センター長 羽賀友信

私たちの生活を支えるインフラ【5回連続講座】



ねらい

ニュースでよく聞く「インフラ」。自分には関係ないと思っていませんか。インフラは、道路や橋、河川、鉄道など、社会や経済の支え…実は身近なもので、ないと生活に困るものばかり。インフラの技術や歴史を知ること、より豊かな生活を創造する社会について考えてみましょう。

定員30名(先着)

受講料5回で3,000円

会場まちなかキャンパス長岡 3F 301会議室ほか

1 インフラってなに？

いい車があっても、道路が整備されていなければ目的地に着くのは難しいですね。道路や橋、通信網、エネルギー施設などの生活や経済の支えを「インフラストラクチャー(社会基盤)」略して「インフラ」と言います。その中でも道路や橋などについて、役割や歴史、構造などの身近な例を交えてお話しします。

9/30(水)
19:00～20:30

長岡技術科学大学
教授 下村匠

2 大河津分水 ーインフラを造った人々ー

日本を代表する歴史的構造物である「大河津分水」。県内に住んでいれば誰でも知っていますよね。大河津分水は大正11年に通水し、当時の最先端の技術を結集した一大事業でした。その大河津分水を例に、インフラ整備の技術的側面だけでなく、社会的、文化的な背景と、それを造った「人」にスポットを当てます。

10/7(水)
19:00～20:30

日本大学
准教授 阿部貴弘

3 あくなき自然との闘い

地震や津波、洪水などの自然の猛威から、私たちの暮らしを守ることもインフラの大切な役割の一つです。インフラを造る技術は、これまでの自然災害の経験や教訓を経て発展してきました。その中から地震に耐える構造物や過酷な自然環境の中で長く使われる構造物を取り上げ、最先端の技術とその研究を紹介します。

10/14(水)
19:00～20:30

長岡技術科学大学
教授 下村匠

4 "造る"から"維持管理"へ ー社会の持続的発展を考えるー

戦後の高度成長期には、新幹線や高速道路をはじめ、今日の社会・経済の発展を支えるインフラが造られました。前回の東京オリンピックから50年、老朽化が進み、その維持管理が大きな課題と言われています。造る時代から維持管理の時代になり、これからのインフラにはどのような技術が必要となるのでしょうか。

10/21(水)
19:00～20:30

長岡技術科学大学
准教授 宮下剛

5 長生橋を見に行こう

「長生橋？いつも通ってるよ。結構揺れるよね」…身近なインフラで長岡のシンボル・長生橋を改めて見学してみましょう。供用開始から80年を越えた長生橋には、先人たちのどのような苦勞の跡が刻まれているのでしょうか。解説を聞きながら眺める長生橋は、また違った趣や発見があるかもしれません。

会場長生橋

10/25(日)
14:00～16:00

長岡技術科学大学
准教授 宮下剛